

事業計画（案）

【総務広報委員会】

担当副理事長 牧野 仁

委員長 横尾 智広 副委員長 石井 佳太

メンバー 芳賀 景子

基本方針

我々は地域に根ざしたまちづくり団体として、市民を巻き込んだ運動や伝統ある事業を展開しておりますが、我々の運動を伝播させていくうえで発信力の向上は重要な課題であり、効果的な広報はこれまで以上に市民の期待と信頼に応えられる可能性を秘めています。我々の運動をより大きな渦へと発展させていくには、地域に利益と好循環が実現する事業を、市民を巻き込みながら展開し地域の活性化へと繋げることが大切であり、質の高い広報が運動の効果を高めていきます。未来を見据えてメンバー一人ひとりがビジョンを描き、実現可能な具体的な目標を掲げ、JCのブランド力を強化するとともに、市民の期待と信頼に応え続ける必要があります。

事業計画

事業名	予算額
1月通常総会の設営	¥79,624
新春賀詞交歓会（1月例会）	¥29,372
HP、FBの運営管理と情報の発信と記録	¥16,000
会員益とLOM益につながるブランディング強化事業の実施（4月例会）	¥4,500
8月通常総会の設営	¥5,000
卒業生を送る会（11月例会）	¥131,500
各委員会への積極的な協力	—
会員拡大会議への積極的な参加	—
その他	—
総予算額	¥265,996

【青少年育成委員会】

担当副理事長 齋藤 竜也

委員長 佐々木 亮太

副委員長 伊藤 康裕

メンバー 鈴木 康介

メンバー 木村 博

メンバー 井上 義悦

メンバー 鈴木 務

メンバー 菅原 圭督

基本方針

かつての日本では、三世帯同居型の家庭が数多く見られ、地域の人々とのつながりが今より密接でしたが、近年の核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化により、子育ての悩みを持つ人が増えていることが指摘されています。未来の日本を支える子ども達を「社会の宝」とし、家庭の中だけではなく、学校や地域の様々な人たちが、子ども達の成長に関心を持ち、社会全体で支え喜び合うことが大切です。青少年育成事業は、創立時より絶えず行ってきた運動であり、子ども達に徳性を育ててもらうだけでなく、我々の成長にもつながる地域と密接に情報交換ができる機会として、未来を見据えた青少年の豊かで活力ある育成環境を創っていくことが必要です。

事業計画

事業名	予算額
SDGsを学ぶことでの会員とLOM益の増進事業（2月例会）	¥14,298
第33回わんぱく相撲東根大会（5月例会）	¥318,500
第35回わんぱく相撲ブロック大会及び全国大会（7月委員会事業）	¥225,000
ひがしね城下町祭りへの参画（7月委員会事業）	¥100,000
各委員会への積極的な協力	—
会員拡大会議への積極的な参加	—
その他	—
総予算額	¥657,798

【まちづくり委員会】

担当副理事長 大山 和宏

委員長 阿部 淳

副委員長 治部 貴博

メンバー 鹿野 美紀

メンバー 今野 伸一

メンバー 鈴木 信行

メンバー 辻村 充

メンバー 木村 和也

基本方針

我々が住まう東根市にも、人口減少による経済規模の縮小や地域活力の減退など、数多くの問題が今後懸念されていますが、まちづくりに対して一步を踏み出せずにいる市民がいる一方で、まちづくりは自分事と捉え自ら率先して行動している方もいます。「ひがしね」の未来を共創するパートナーである市民が、このまちに住まう者として自身がまちづくりの主役であるという考えのもとに、行動することが求められている時代になってきました。誰もが輝ける持続可能な社会の実現に向けて、メンバー、市民、関係諸団体、企業が今までの固定概念にとらわれず、新たな発想をもとに自発的にまちづくりのために行動を起こすように当事者意識を持つことが必要です。

事業計画

事業名	予算額
東根JC説明会・JCゲームの開催（3月例会）	¥57,340
市民協働事業・ふるさとOMOIYARIプロジェクト（6月例会）	¥16,500
自立と持続可能な市民参画型まちづくり事業（9月例会）	¥155,000
各委員会への積極的な協力	—
会員拡大会議への積極的な参加	—
その他	—
総予算額	¥228,840

【事務局】

専務理事 榎 健太郎

事務局長 高橋 範一

基本方針

当LOMは会員数の減少や在籍年数の短期化、例会出席率の低迷、出席者の固定化といった様々な問題を抱えており、将来のJC運動やLOMの運営に多大な影響を及ぼす状況にあります。まずは、会員数の拡大やメンバーの資質向上、そして各委員会が効率的な運動を展開できるよう、一般社団法人としての予算の管理と時代に合わせた定款及び規程の見直しを行い、委員会のフォローアップや的確な事務局運営を通して、LOMの発展を図る必要があります。他の委員会の模範となり、LOMの窓口としてOBや各種団体、行政等の外部組織との良好な関係性を築きながら、常に進化し発展し続ける組織としての、運動、運営を行っていく必要があります。

事業計画

事業名	予算額
事務局の運営	—
理事会・常任理事会の運営・設営及び議事録の作成	—
総会の議事録作成	—
会費・事業費の管理及び予算・決算に関すること	—
一般社団法人東根青年会議所定款及び規程の見直しと変更	¥1,000
登記・庶務に関すること	—
メーリングリスト・LINEグループの管理と運営	—
新入会員の備品手配と管理	—
行政関係機関との会議・調整	—
(公社)日本青年会議所・地区・ブロックへの運営協力・窓口	—
災害時の対応窓口及び災害ネットワークの管理と更新	—
JCI公式コースの開催	¥145,620
創立記念日・JCIデーの開催(10月例会)	¥152,000
クリスマス家族交流会の開催(12月例会)	¥183,000
第35回理事長杯 OB交流チャリティーコンペの開催	—
選挙時における公開討論会の設営	—
種飛ばしグランプリへの協力	—
さくらんぼマラソンへの協力	—
第26回東根市地区対抗駅伝競走大会への協力	—
た〜んとほおバルフェスタへの協力	—
国内外各大会への参加取り纏め 1月：京都会議 6月：第52回山形ブロック大会鶴岡大会 7月：サマーコンファレンス 9月：東北青年フォーラムin能代 10月：全国大会富山大会	—
その他	—
総予算額	¥329,620